



平成30年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社 自重堂 上場取引所 東
 コード番号 3597 URL http://www.jichodo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出原 正信
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役業務本部本部長 (氏名) 谷口 郁志 TEL 0847-51-8111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績（平成29年7月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	8,321	2.8	1,471	2.8	1,774	△31.5	1,270	△33.0
29年6月期第2四半期	8,098	△2.0	1,432	13.7	2,591	185.9	1,895	266.7

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 1,591百万円 (△32.3%) 29年6月期第2四半期 2,349百万円 (642.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	440.56	—
29年6月期第2四半期	651.53	—

※当社は、平成30年1月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年6月期第2四半期	35,898	30,531	85.0	10,589.24
29年6月期	34,784	29,665	85.3	10,286.92

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 30,531百万円 29年6月期 29,665百万円

※当社は、平成30年1月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	50.00	50.00
30年6月期	—	0.00	—	—	—
30年6月期（予想）	—	—	—	300.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成30年1月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。このため、平成30年6月期（予想）の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年6月期（予想）の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計は60円となります。

3. 平成30年6月期の連結業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,150	0.4	2,700	△10.8	2,700	△30.3	1,870	△32.5	648.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年6月期通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しています。株式併合を考慮しない場合の平成30年6月期通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は129円71銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期2Q	3,230,701 株	29年6月期	3,230,701 株
② 期末自己株式数	30年6月期2Q	347,450 株	29年6月期	346,896 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期2Q	2,883,498 株	29年6月期2Q	2,908,678 株

※当社は、平成30年1月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。このため、前連結会計年度の期首に当該併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び業績予想について）

当社は、平成29年9月27日開催の第57期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成30年1月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。併せて同日付で単元株式数を1,000株から100株に変更しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年6月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年6月期の期末配当予想 1株当たり60円
2. 平成30年6月期通期の連結業績予想 1株当たり当期純利益129円71銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、底堅い輸出、インバウンド需要等を背景として、総じて企業業績は堅調に推移しているものの、米国政権の混乱や、地政学リスクの高まりなど、国際情勢は不安が増大しており、景気の先行きは不透明な状況が続いています。我々アパレル業界、ワーキング業界においても、お客様の節約志向が依然として根強く、消費の二極化がより鮮明になってきております。また、他業種からの参入やネット通販の拡大など業種・業態を超えた競争が激化していることなどから、当社を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。

このような状況のもと当社グループにおきましては、ワーキング事業においては、ネット通販市場の拡大を受け、主要ブランド「J I C H O D O（ジチョウドウ）」、次世代戦略ブランド「J a w i n（ジャウイン）」、世界戦略ブランド「Z - D R A G O N（ジードラゴン）」を中心に、積極的に広告宣伝活動を行い、ネット通販市場においても当社商品が支持されるよう、ブランド知名度の向上に取り組んでまいりました。また、新規流通チャネルの開拓、新規物件の獲得に取り組み、売上・利益の拡大を図ってまいりました。フットウェア分野においては、個人需要だけでなく、法人需要の受注拡大に向け、デザイン性、機能性を重視しながらも価格訴求力のある商品の展開を強化するとともに、新規販路の開拓など営業活動を強化し、売上の拡大に努めてまいりました。医療用白衣・介護ウェアの分野においては、医療・福祉関係の展示会へ積極的に出展し、自重堂の医療用白衣・介護ウェアブランドである「W H I S e L（ホワイセル）」ブランドの知名度向上に努めるとともに、新規取引先の開拓に注力してまいりました。メンズカジュアル事業においては、事業構造の転換を進め、新たな流通ルートの開拓に取り組み、売上・利益の回復に努めてまいりました。

生産面におきましては、主要な生産国である中国における環境規制の強化などの影響により納期遅れが発生し、納期遅れをリカバリーするため生産工場の変更や短納期対応等の対策を実施してまいりましたが、結果として、代理店、ユーザーの皆様にご迷惑をお掛けすることとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、主力のユニフォームにおいては納期遅れによる販売機会ロスが発生したことにより、売上は前年を上回ったものの伸び悩み、フットウェア、医療用白衣・介護ウェア、メンズカジュアルは順調に売上が伸びたことから、売上高は8,321百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。利益面においては、低価格品の販売が増加したことなどにより粗利率は若干低下したものの、販管費を抑制できたことなどから、営業利益は1,471百万円（前年同四半期比2.8%増）となり、営業利益ベースでは増収増益となりました。経常利益は、輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っております為替予約取引に係る時価評価によるデリバティブ評価益が前年同四半期に比べ大幅に減少したことなどにより、1,774百万円（前年同四半期比31.5%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,270百万円（前年同四半期比33.0%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,114百万円増加し、35,898百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ662百万円増加し、25,367百万円となりました。これは主に、現金及び預金が780百万円、原材料及び貯蔵品が1,022百万円、流動資産その他が100百万円増加したことと、受取手形及び売掛金が423百万円、商品及び製品が734百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ451百万円増加し、10,531百万円となりました。これは主に、投資有価証券が403百万円、投資その他の資産その他が108百万円増加したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ170百万円増加し、3,731百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が996百万円増加したことと、未払法人税等が575百万円、賞与引当金が159百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ78百万円増加し、1,635百万円となりました。これは主に繰延税金負債が138百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ865百万円増加し、30,531百万円となりました。これは主に、利益剰余金が549百万円、その他有価証券評価差額金が323百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度より780百万円増加し、8,285百万円（前連結会計年度比10.4%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は1,409百万円（前年同期は1,820百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,774百万円、売上債権の減少423百万円、仕入債務の増加996百万円等による増加と、賞与引当金の減少159百万円、たな卸資産の増加287百万円、法人税等の支払額1,033百万円等による減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は73百万円（前年同期は122百万円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入203百万円等による増加によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は729百万円（前年同期は733百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額722百万円等による減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期末以降の経済動向、為替動向並びにその業績に与える影響が依然として不透明ではありますが、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況は、売上高及び営業利益については概ね計画どおりに推移していることと、今後の見通しを踏まえ、平成29年8月9日の「平成29年6月期決算短信」で発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,522,210	8,302,216
受取手形及び売掛金	5,222,427	4,798,984
商品及び製品	9,524,527	8,790,264
仕掛品	3,533	2,927
原材料及び貯蔵品	1,997,363	3,020,183
繰延税金資産	204,770	120,819
その他	241,505	342,023
貸倒引当金	△11,554	△10,083
流動資産合計	24,704,783	25,367,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,746,553	1,694,178
土地	4,077,713	4,077,713
その他（純額）	148,309	140,180
有形固定資産合計	5,972,576	5,912,072
無形固定資産	30,097	28,882
投資その他の資産		
投資有価証券	3,057,695	3,461,444
その他	1,074,212	1,182,380
貸倒引当金	△54,912	△53,343
投資その他の資産合計	4,076,995	4,590,481
固定資産合計	10,079,669	10,531,436
資産合計	34,784,452	35,898,774

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,807,162	2,803,331
未払金	155,941	136,432
未払法人税等	1,030,815	455,375
返品調整引当金	83,195	86,217
賞与引当金	179,790	20,361
その他	304,400	229,687
流動負債合計	3,561,305	3,731,405
固定負債		
退職給付に係る負債	585,746	594,538
繰延税金負債	173,282	312,031
その他	798,653	729,354
固定負債合計	1,557,682	1,635,924
負債合計	5,118,987	5,367,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,827,576	1,827,576
利益剰余金	25,401,544	25,950,956
自己株式	△1,709,929	△1,714,216
株主資本合計	28,501,691	29,046,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,149,413	1,473,148
退職給付に係る調整累計額	14,360	11,478
その他の包括利益累計額合計	1,163,773	1,484,627
純資産合計	29,665,465	30,531,444
負債純資産合計	34,784,452	35,898,774

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年7月1日 至平成28年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年7月1日 至平成29年12月31日）
売上高	8,098,720	8,321,615
売上原価	5,234,211	5,410,199
売上総利益	2,864,509	2,911,416
販売費及び一般管理費	1,432,146	1,439,554
営業利益	1,432,362	1,471,861
営業外収益		
受取利息及び配当金	33,424	34,496
為替差益	10,010	33,569
有価証券売却益	10,539	132,454
受取賃貸料	33,090	32,584
デリバティブ評価益	1,055,270	60,622
その他	36,940	27,865
営業外収益合計	1,179,275	321,592
営業外費用		
賃貸収入原価	19,465	18,876
その他	313	171
営業外費用合計	19,779	19,047
経常利益	2,591,858	1,774,407
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	2,591,858	1,774,407
法人税、住民税及び事業税	811,160	422,014
法人税等調整額	△114,399	82,029
法人税等合計	696,761	504,043
四半期純利益	1,895,097	1,270,363
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,895,097	1,270,363

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益	1,895,097	1,270,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	452,688	323,735
退職給付に係る調整額	2,068	△2,881
その他の包括利益合計	454,757	320,853
四半期包括利益	2,349,854	1,591,217
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,349,854	1,591,217

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,591,858	1,774,407
減価償却費	70,207	62,060
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△11,179	△3,039
賞与引当金の増減額（△は減少）	△127,458	△159,428
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△7,007	3,022
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	8,147	4,645
受取利息及び受取配当金	△33,424	△34,496
デリバティブ評価損益（△は益）	△1,055,270	△60,622
売上債権の増減額（△は増加）	355,727	423,442
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,158,443	△287,951
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,560,441	996,168
その他	219,630	△310,355
小計	1,609,232	2,407,853
利息及び配当金の受取額	33,422	34,495
法人税等の支払額	—	△1,033,260
法人税等の還付額	178,104	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,820,759	1,409,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,480	△2,480
定期預金の払戻による収入	2,480	2,480
有形固定資産の取得による支出	△1,541	△163
投資有価証券の取得による支出	△6,074	△9,564
投資有価証券の売却による収入	17,444	203,942
その他	△132,728	△120,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,899	73,619
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△4,220	△4,287
配当金の支払額	△726,476	△722,216
リース債務の返済による支出	△3,168	△3,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△733,865	△729,672
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,681	26,969
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	969,675	780,005
現金及び現金同等物の期首残高	4,197,251	7,505,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,166,927	8,285,536

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成29年12月31日)

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。